

交通事故と渋滞

情報班：鳴神 大芽 山本 忠亮

1. はじめに

交通事故がどこで、どのように発生しているのか疑問に思ったので交通事故について研究した。また、渋滞の有無により、一般道で発生する交通事故にどのような違いがあるのか、交通事故と渋滞にはどのような関係があるのかについても研究した。

仮説として、交通事故が起こりやすい場所は、交通量の多い道路や車線が複数ある交差点または緩やかな下り坂、一方通行の道、ミラーのついていない角、信号がない道路が考えられる。また一般道では、工事、事故、違法駐車、道路にあう通行量を超えたときなどが原因で渋滞が生じていると考えられる。

2. 定義

(1) 交通事故

車両などによる事故のことを指し、道路における自動車・自転車・歩行者などの間に発生した道路交通事故も指す。また、鉄道・船舶・航空機などにおける事故や公共交通機関においても交通事故として取り扱われる。

(2) 渋滞

一般道路では、走行速度が 20km/h 以下になった状態のことを指し、高速道路では、走行速度が 40km/h 以下になった状態のことを指す。

(3) 大通り

街の中心部を貫くその街の中心となる通りのことである。都市部では交通の基軸となるため、多くの自動車が往来できるように道幅は広く取られている。地方部では商店街などを大通りと称している場合がある。

3. 研究方法

高津高校がある天王寺区と、面積・人口が同じくらいの福島区と東成区(下記の表を参照)の 2013 年事故発生件数のサイト、google map で、事故発生場所の衛星写真を確認し、事故の起きやすさなどを調べる。また、渋滞がしばしば起こる一般道での事故発生件数から、渋滞と交通事故の関連性も調べる。

	天王寺区	福島区	東成区
人口(人)	74,500	72,002	80,020
面積(km ²)	4.80	4.67	4.55

(各三区の人口と面積)

また、交通事故の多発している通りと、一般道で渋滞がよく起きている道路(大阪市北区梅田駅周辺)を比較してみる。

4. 結果

各三区の大通りでは、死亡事故よりも重軽傷事故がよく起きている。仮説で立てた通りの場所で事故は発生している。また、緩やかなカーブを描いている所でも事故が発生していた。

5. 考察

(1) 死亡事故

信号の少ない一本道や高速道路のサグ(緩やかな下り坂から緩やかな上り坂にかけて)のところでおきやすい。また、交通量の少ない一本道では、運転手の他の車への配慮が少なく、スピードを出しやすくなる傾向があることから、死亡事故が発生している。

(2) 重傷事故

交通量が多い道、または、狭い車道で起こりやすい。歩道で歩行者と自転車との接触。スマートフォンの使用、音楽を聴くことに夢中になり、周りの状況を確認できていなく、交通事故を起こしてしまう。また、交差点での出会いがしらによる接触が挙げられる。交通事故は、渋滞が起きることにより発生する確率は高くなる。つまり、渋滞を減らせば事故も減るかもしれない。

6. 参考文献ならびに参考 Web ページ

「大阪府警察」〈<http://www.police.pref.osaka.jp/03kotsu/kensu/map/index.html>〉

(2014/6/23 アクセス)

「「地域の主要渋滞箇所」の公表について」

〈<http://www.kkr.mlit.go.jp/road/juutai/pdf/kasho.pdf#search='%E6%B8%8B%E6%BB%9E+%E5%A4%A7%E9%98%AA+%E4%B8%80%E8%88%AC%E9%81%93+pdf'>〉

(2014/12/22 アクセス)